

# 2021年3月期 第2四半期 決算説明資料

**OCHIホールディングス株式会社**



2020年12月4日

# 会社概要

## 経営理念

住生活に関するビジネスを基軸として、  
生活文化の向上と地球環境の保全に貢献します。

## 会社概要

代表者	越智 通広
本社所在地	福岡市中央区那の津三丁目12番20号
設立	2010年10月1日
資本金	4億円
発行済株式総数	13,610,970株
業種別分類	卸売業
証券コード	3166 (東証1部・福証)
銘柄略称	OCHI・HD
売買単位	100株
グループ従業員数	1,342名(2020年9月30日現在)

## 沿革

1955年 5月	木材及び合板等の建築材料の販売を目的として、福岡市で越智商店を創業
1958年10月	(株)越智商店設立
1970年 6月	越智産業(株)に商号変更
1996年 2月	福岡証券取引所に上場
2010年10月	越智産業(株)の株式移転によりOCHIホールディングス(株)設立、持株会社体制へ移行、福岡証券取引所に上場
2013年11月	東証2部上場
2014年11月	東証1部へ市場変更
2014年12月	DS TOKAI(株)を子会社化し、中京圏での建設事業、介護サービス事業へ進出
2016年10月	太平商工(株)を子会社化し、産業資材の販売へ進出
2018年 8月	冷熱環境器材の販売を行なう太陽産業(株)を子会社化

## 住宅資材卸売ランキング

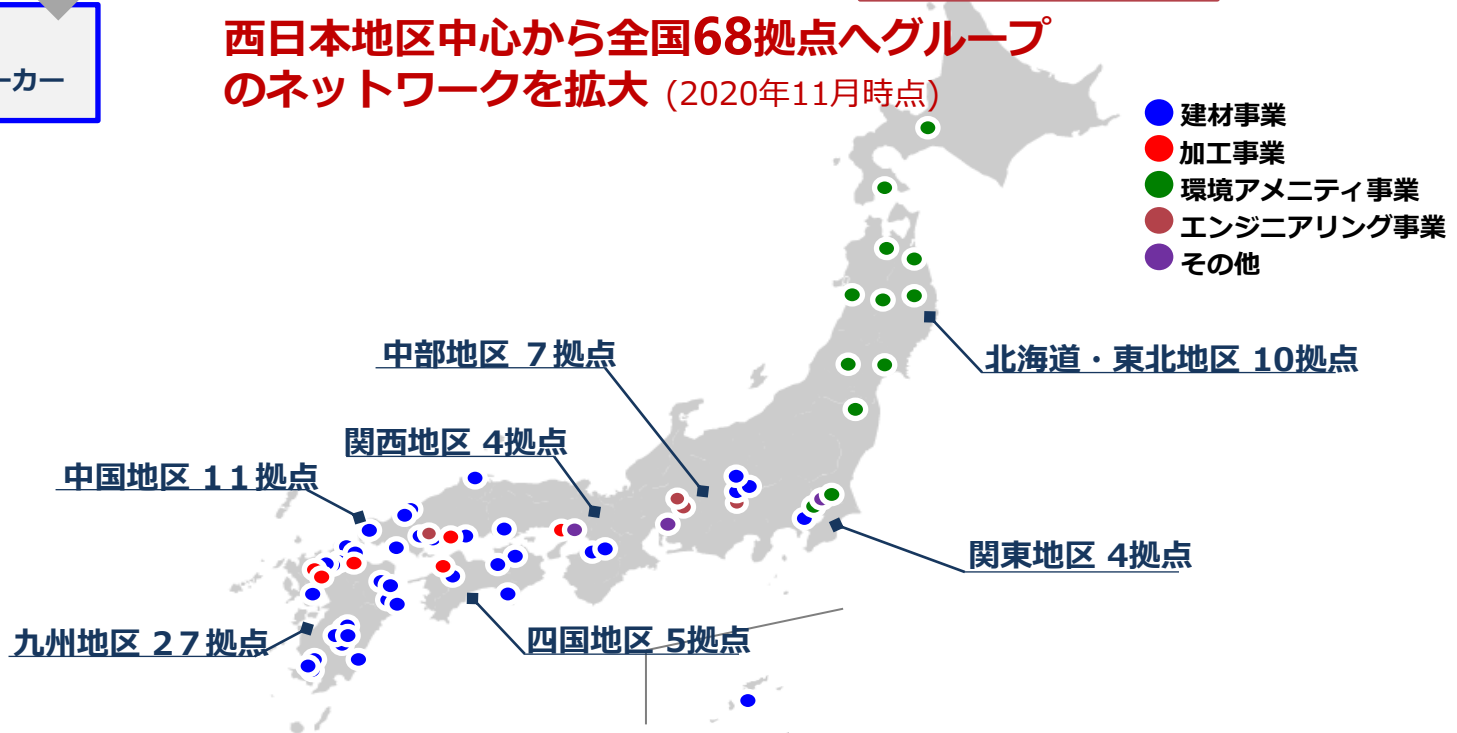
### 2020年3月期連結

### 2021年3月期 第2四半期累計

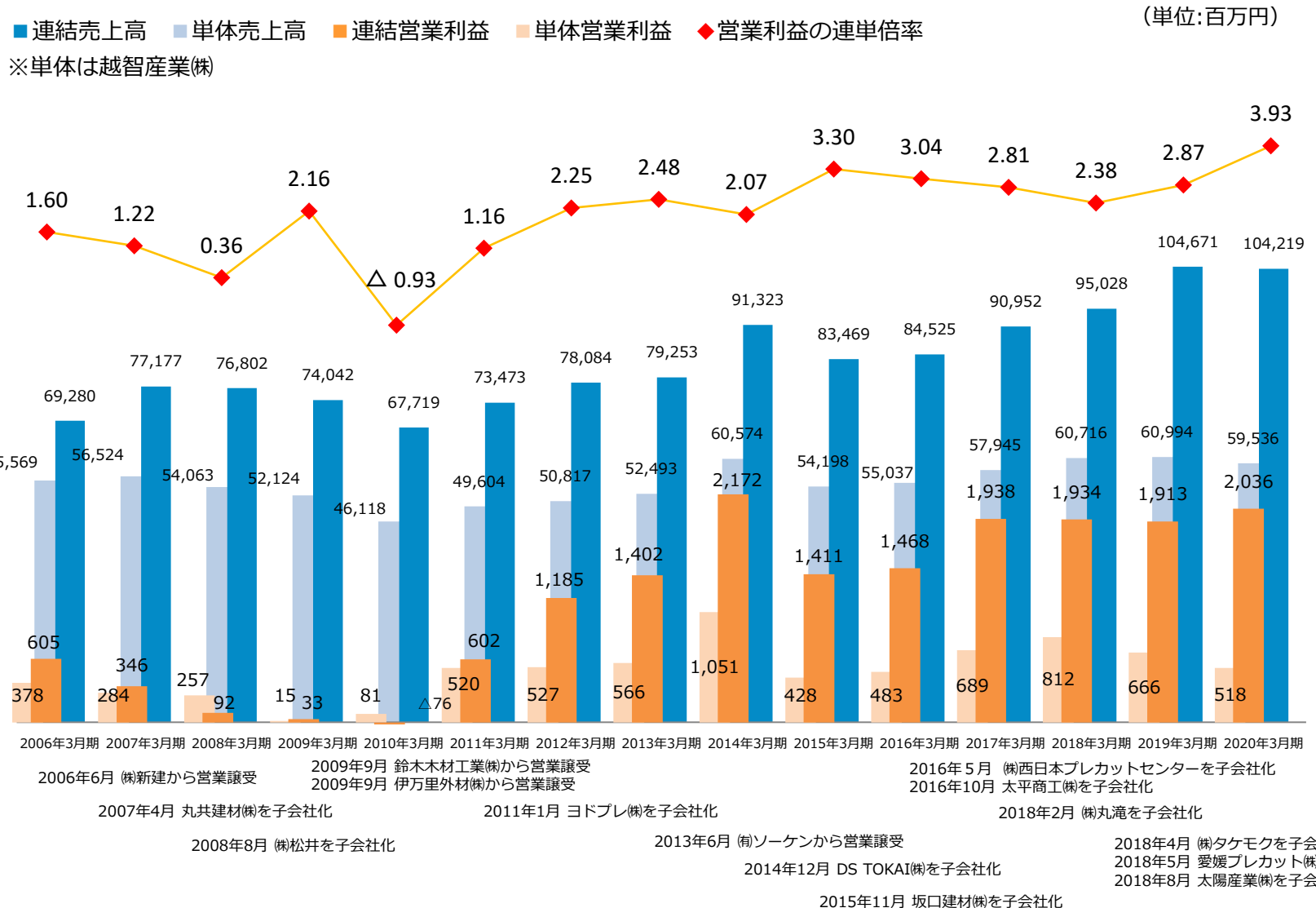
順位	会社名	売上高	営業利益	営業利益率	売上高	営業利益	営業利益率
1	J Kホールディングス(株)	368,479	5,111	1.4%	164,070	2,118	1.3%
2	ナイス(株)	251,475	1,203	0.5%	98,239	1,870	1.9%
3	ジューテックホールディングス(株)	162,398	1,541	0.9%	70,253	200	0.3%
4	<b>OCHIホールディングス(株)</b>	<b>104,219</b>	<b>2,036</b>	<b>2.0%</b>	<b>47,774</b>	<b>564</b>	<b>1.2%</b>
5	クワザワホールディングス(株)	92,390	1,181	1.3%	43,340	135	0.3%



西日本地区中心から全国68拠点へグループのネットワークを拡大 (2020年11月時点)



## M & Aで子会社化した企業を確実に収益化することで、連結業績の拡大に成功



# 2021年3月期 第2四半期 決算概況

## 減収を余儀なくされるも、四半期純利益は固定資産売却益もあり過去最高

### 売上高

**47,774**百万円

前年同期比 91.5%

- 2020年4～9月の持家・分譲戸建住宅の着工戸数は、前年同期比14.3%減
- 売上高は、前年同期比8.5%減 M&Aの寄与分を除けば、8.7%減
- 巣ごもり需要があった「環境アメニティ」は前年同期比0.2%減と健闘

### 営業利益

**564**百万円

前年同期比 53.7%

- 売上総利益率は向上したものの、売上高の減少により、売上総利益は前年同期比6.8%減
- M&A関連費用127百万円、建材事業の基幹システム更改に係る費用112百万円が発生したこともあり、営業利益は前年同期比46.3%減

### 親会社株主に帰属する四半期純利益

**841**百万円

前年同期比 114.8%

- 特別利益として、固定資産売却益589百万円、負ののれん発生益120百万円を計上したため、四半期純利益は過去最高

## マイナス影響

- 雇用・所得環境や消費者マインドの悪化による売上の減少  
建材事業・加工事業：新設住宅着工戸数の減少やリフォーム工事の延期等に伴う売上の減少  
環境アメニティ事業：設備投資の延期・取り止め  
その他事業：自動車関連をはじめとした売上の減少
- 対面営業活動の自粛等に起因する売上の減少  
全事業

## プラス影響

- 巣ごもりや衛生意識の高まり等の消費者の行動変化に伴う売上の増加  
環境アメニティ事業：家庭用品全般、マスク・消毒液等の衛生用品、  
空気清浄機・加湿器等の家電  
建材事業：自動水栓、抗ウイルス加工の内装材・床材
- テレワークの導入等の企業の行動変化に伴う売上の増加  
建材事業・加工事業：テレワーク用の家具・リフォーム、戸建住宅への選好の高まり



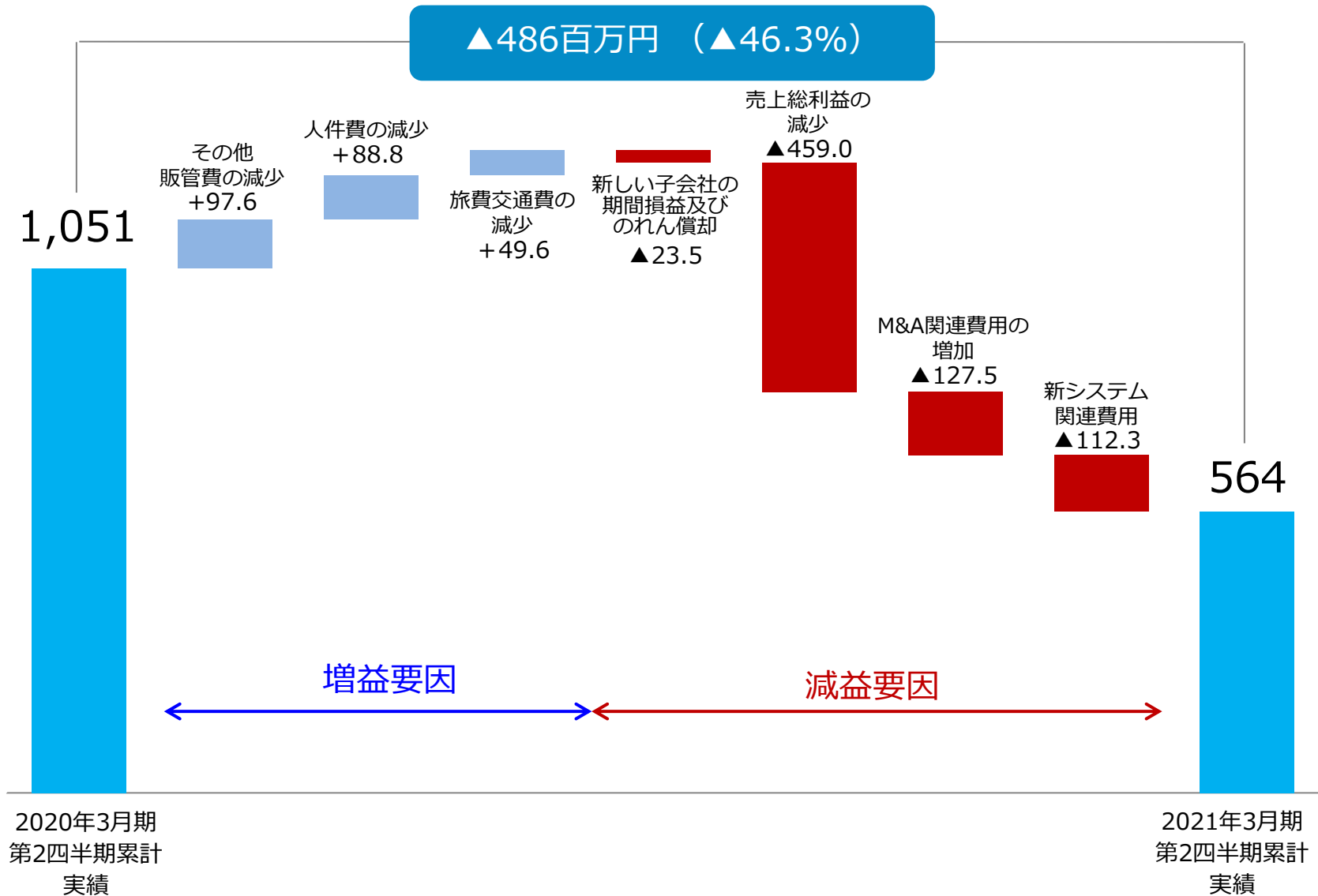
単位:百万円、( )内は構成比

	2020年3月期 第2四半期累計	2021年3月期 第2四半期累計		
		実績	前年同期増減	前年同期比
売上高	52,232 (100.0%)	47,774 (100.0%)	▲4,458	91.5%
売上総利益	6,576 (12.6%)	6,130 (12.8%)	▲446	93.2%
販売管理費	5,525 (10.6%)	5,565 (11.7%)	40	100.7%
営業利益	1,051 (2.0%)	564 (1.2%)	▲486	53.7%
経常利益	1,180 (2.3%)	702 (1.5%)	▲478	59.5%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	733 (1.4%)	841 (1.8%)	108	114.8%

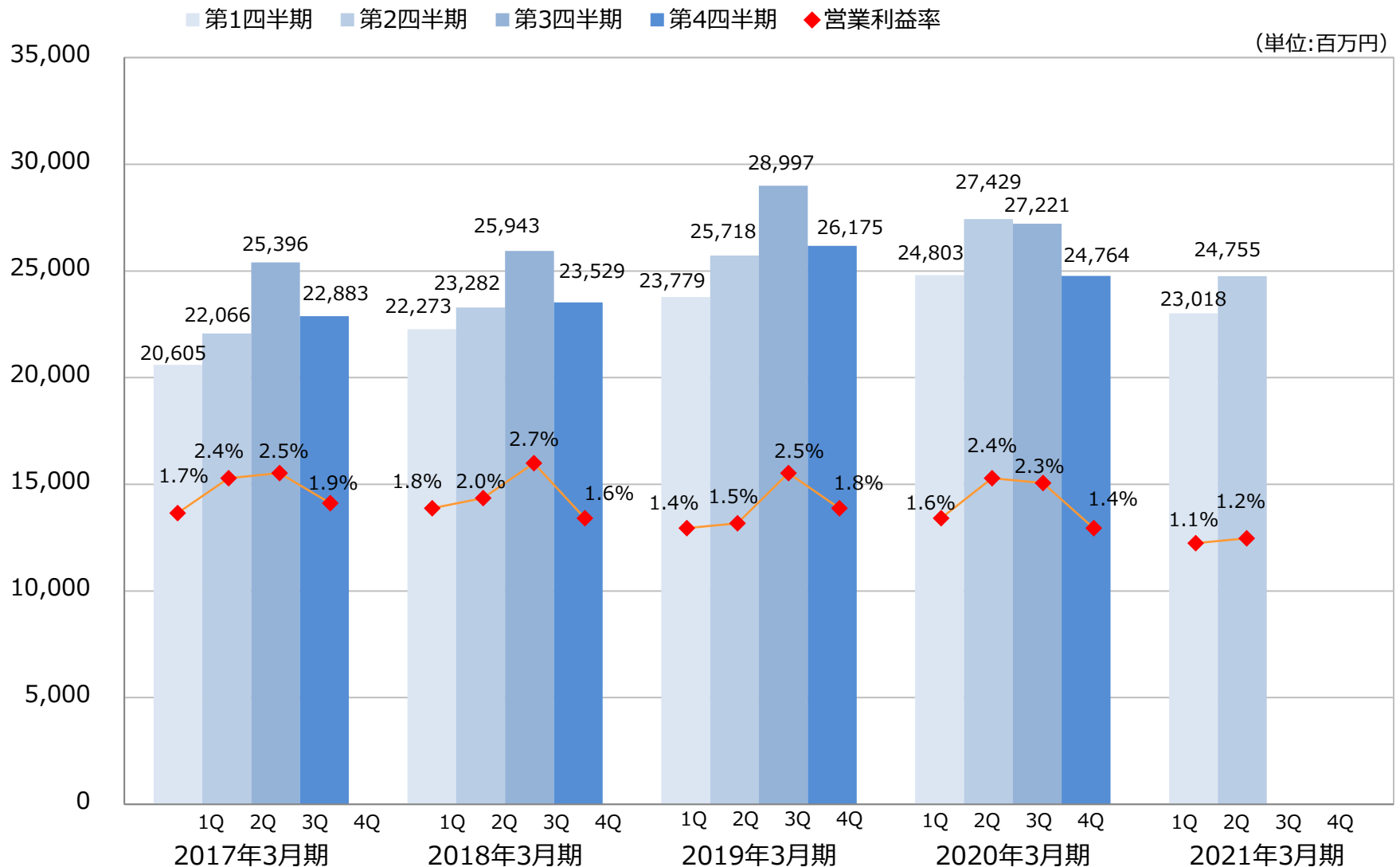
## 主な特別利益／損失

	2020年3月期 第2四半期	2021年3月期 第2四半期	備考
固定資産売却益	1	589	大阪市の賃貸用オフィスビル等の投資不動産の売却
負ののれん発生益	—	120	長豊建設(株)の子会社化に係るもの
特別利益合計	2	713	
投資有価証券評価損	28	2	政策保有株式の減損
減損損失	—	51	のれんの減損等
特別損失合計	29	53	

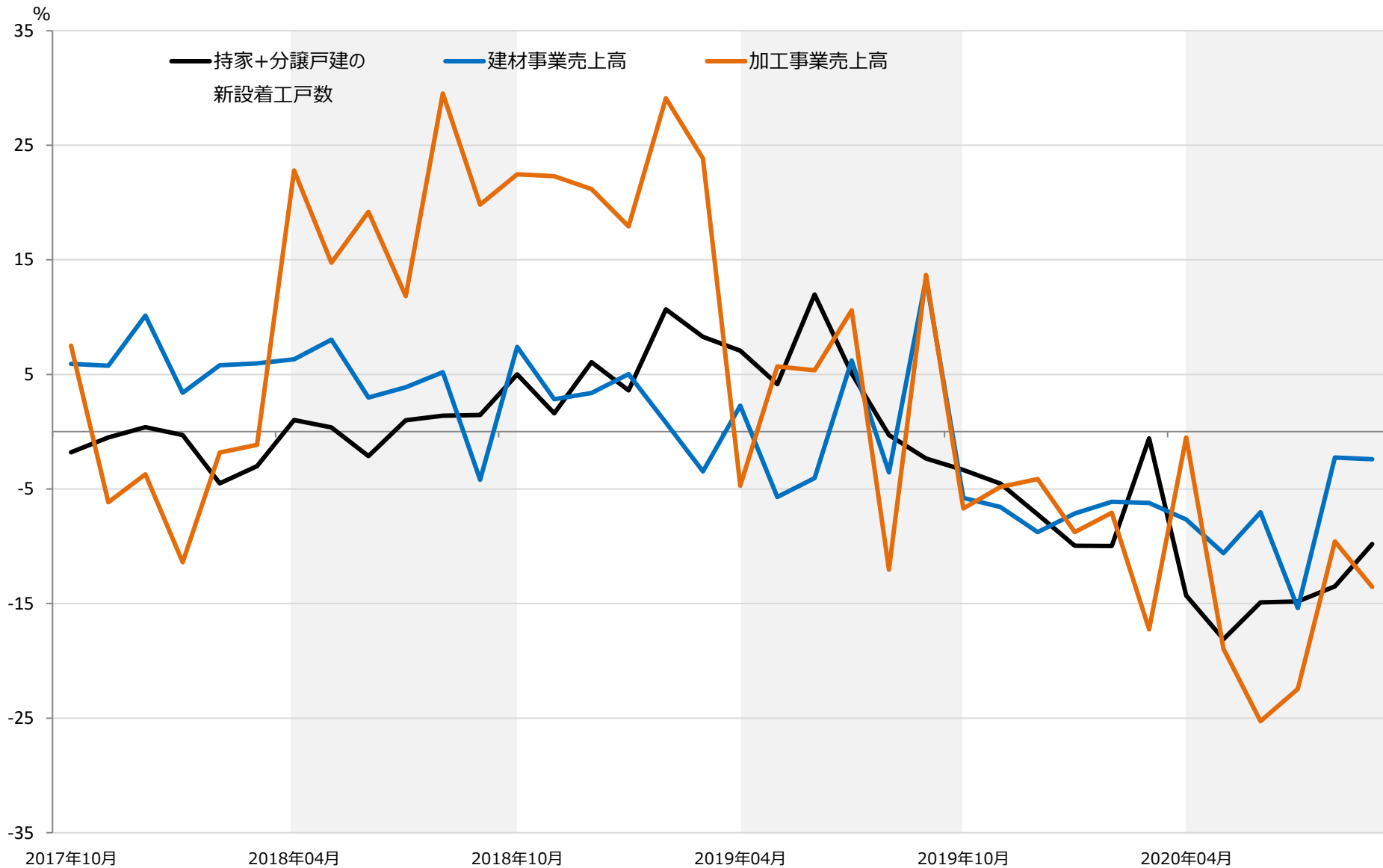
(単位:百万円)



# 四半期売上高の推移



# 前年同月比 年率推移 (全国)



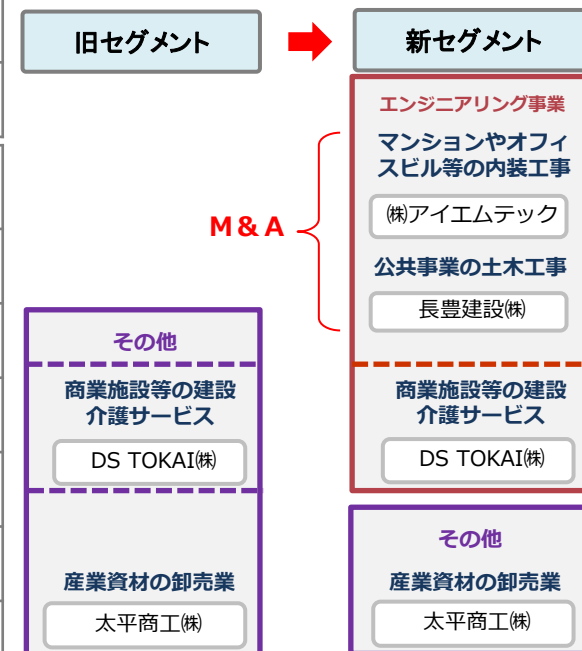
# セグメント別の損益

単位:百万円、( )内は構成比  
 < >は各セグメントの営業利益率

	2020年3月期 第2四半期累計	2021年3月期 第2四半期累計		
		実績	前年同期増減	前年同期比
<b>売上高</b>	52,232 (100.0%)	47,774 (100.0%)	▲4,458	91.5%
建材事業	34,827 (66.7%)	32,188 (67.4%)	▲2,639	92.4%
加工事業	7,927 (15.2%)	6,708 (14.0%)	▲1,219	84.6%
環境アメニティ事業	7,192 (13.8%)	7,176 (15.0%)	▲15	99.8%
エンジニアリング事業	649 (1.2%)	451 (0.9%)	▲198	69.5%
その他	1,816 (3.5%)	1,451 (3.0%)	▲364	79.9%
部門間調整	▲181	▲202	▲21	—
<b>営業利益</b>	1,051 (2.0%)	564 (1.2%)	▲486	53.7%
建材事業	683 <2.0%>	474 <1.5%>	▲208	69.5%
加工事業	463 <5.8%>	359 <5.4%>	▲103	77.6%
環境アメニティ事業	99 <1.4%>	93 <1.3%>	▲5	94.2%
エンジニアリング事業	30 <4.7%>	▲113 <->	▲143	—
その他	46 <2.5%>	15 <1.1%>	▲30	33.9%
部門間調整	▲272	▲266	6	—

エンジニアリング事業部を新設したことにより、2020年7月に子会社化した(株)アイエムテック及び長豊建設(株)、並びに、「その他」セグメントに区分していたDS TOKAI(株)を「エンジニアリング事業」として新たな報告セグメントとした

なお、2020年3月期第2四半期連結累計期間の数値については、変更後の区分方法により作成したものを記載



単位:百万円、( )内は構成比

	2020年3月期 第2四半期累計	2021年3月期 第2四半期累計		
		実績	前年同期増減	前年同期比
売上高	34,827	32,188	▲2,639	92.4%
売上総利益	3,773 (10.8%)	3,538 (11.0%)	▲235	93.8%
営業利益	683 (2.0%)	474 (1.5%)	▲208	69.5%

- 前期比
- 持家・分譲戸建住宅の着工戸数の減少やリフォーム工事の延期等の影響により、売上高は前年同期比7.6%減
  - 売上総利益率は前年同期比0.2ポイント向上したものの、売上高の減少により、売上総利益も前年同期比6.2%減
  - 時間外労働の削減等、販管費の圧縮に努めたものの、基幹システム更改に係る費用112百万円が発生したこともあり、営業利益は前年同期比30.5%減

「事業シナジーと高効率経営」を追求するため、  
建材事業会社の**基幹システムの刷新および統一**を実施

● 経営の方向性

働き方改革の実現

事業領域拡大への対応

持続的成長を支える  
IT基盤の構築

● 新基幹システム導入における業務変革

改善テーマ	改善例
改善テーマ 1 業務標準化・業務間 連動による効率化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メーカーへの発注データを取込むことで伝票を自動生成し、伝票入力業務を削減</li> <li>・メーカーの商品マスタを取り込むことで、伝票入力業務を削減し入力ミスも防止</li> </ul>
改善テーマ 2 グループ会社間取引の 業務効率化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ会社間取引時の伝票自動生成により、二重入力を削減</li> <li>・基幹システム統一によりグループ内での在庫情報の見える化</li> </ul>
改善テーマ 3 工事業務の標準化と 効率化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工事業務を改めてプロセス化し、属人化を排除</li> <li>・見積～受注～納材・外注手配～完工情報を一元管理し、見える化を実現</li> </ul>
改善テーマ 4 営業競争力の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在庫状況や受発注情報の確認、承認作業をモバイル端末で外出先からも実施可能に</li> </ul>
改善テーマ 5 経営管理の高度化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基幹システム統一により、グループ横断的な分析管理が可能に</li> </ul>
改善テーマ 6 役割分担の明確化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職務権限に合わせた機能制御により内部統制を強化</li> </ul>

● 導入状況

越智産業(株)、(株)ソーケン、坂口建材(株)の3社へ導入完了。

単位:百万円、( )内は構成比

	2020年3月期 第2四半期累計	2021年3月期 第2四半期累計		
		実績	前年同期増減	前年同期比
売上高	7,927	6,708	▲1,219	84.6%
売上総利益	1,441 (18.2%)	1,263 (18.8%)	▲177	87.7%
営業利益	463 (5.8%)	359 (5.4%)	▲103	77.6%

## 前期比

- 建材事業と同様に、持家・分譲戸建住宅の着工戸数の減少の影響が大きく、売上高は前年同期比15.4%減
- 一部資材価格の下落を主因として売上総利益率は前年同期比0.6ポイント向上したものの、売上高の減少により、売上総利益も前年同期比12.3%減
- 販売運賃等の販管費も減少したものの、営業利益は前年同期比22.4%減



単位:百万円、( )内は構成比

	2020年3月期 第2四半期累計	2021年3月期 第2四半期累計		
		実績	前年同期増減	前年同期比
売上高	7,192	7,176	▲15	99.8%
売上総利益	972 (13.5%)	981 (13.7%)	8	100.9%
営業利益	99 (1.4%)	93 (1.3%)	▲5	94.2%

- 前期比
- 巣ごもり需要が高まり、家庭用品の販売が伸長。また、衛生用品等の日用品や季節家電の販売も好調に推移
  - 一方、空調機器の販売・設置工事においては、前期に公立小中学校への空調設備の設置が好調であった反動により、売上高は減少
  - この結果、売上高は前年同期比0.2%減、営業利益は前年同期比5.8%減

単位:百万円、( )内は構成比

	2020年3月期 第2四半期累計	2021年3月期 第2四半期累計		
		実績	前年同期増減	前年同期比
売上高	649	451	▲198	69.5%
売上総利益	95 (14.7%)	101 (22.6%)	6	106.7%
営業利益	30 (4.7%)	▲113 (-)	▲143	—

- 前期比
- 大型物件の受注減少や新型コロナウイルスの感染拡大による工事延期の影響もあり、売上高は前年同期比30.5%減
  - M&A関連費用127百万円が発生したことにより、営業赤字を計上
  - (株)アイエムテックについては、3か月分の損益を連結業績に取り込んでいる。一方、長豊建設(株)については、第2四半期末では貸借対照表のみの連結となっており、その損益は第3四半期から連結業績に取り込む予定

商号	(株)アイエムテック
設立	2000年12月12日
資本金	20百万円
従業員数	11名
本社	広島市西区南観音1丁目9番6号
事業拠点	本社
事業内容	内装工事業
事業の特色	マンション、オフィスビル、ホテル、病院等の内装工事を行ない、元請けとの強固な信頼関係や自社職人を有することに強み
売上高	1,342百万円（2019年5月期）



商号	長豊建設(株)
設立	1967年2月21日
資本金	21百万円
従業員数	59名
本社	長野県飯田市座光寺 5558 番地 1
事業拠点	本社
事業内容	建設業、水処理事業、ガソリンスタンド、飲食業
事業の特色	南信地区での道路・下水道・公共下水処理場の維持管理に強み
売上高	1,650百万円 (2019年5月期)



単位:百万円、( )内は構成比

	2020年3月期 第2四半期累計	2021年3月期 第2四半期累計		
		実績	前年同期増減	前年同期比
売上高	1,816	1,451	▲364	79.9%
売上総利益	292 (16.1%)	245 (16.9%)	▲47	83.7%
営業利益	46 (2.5%)	15 (1.1%)	▲30	33.9%

- 前期比
- 産業資材の販売を行なっている太平商工(株)の事業を報告セグメントに含まれない事業セグメント「その他」に区分
  - 新型コロナウイルスの感染拡大により自動車関連が大きく落ち込み、売上高は前年同期比20.1%減、営業利益は前年同期比66.1%減

# 貸借対照表

(単位:百万円)

	2020年3月期	2021年3月期 第2四半期	
			増減
現金及び預金	8,184	9,305	1,121
売上債権	20,794	20,756	▲37
商品	3,288	3,345	57
未成工事支出金	594	2,474	1,879
その他流動資産	1,025	445	▲579
貸倒引当金	▲36	▲32	3
<b>流動資産</b>	<b>33,851</b>	<b>36,295</b>	<b>2,444</b>
有形固定資産	11,994	11,999	4
無形固定資産	1,422	1,666	244
投資その他の資産	5,398	5,812	414
<b>固定資産</b>	<b>18,815</b>	<b>19,478</b>	<b>663</b>
<b>資産合計</b>	<b>52,666</b>	<b>55,774</b>	<b>3,107</b>

	2020年3月期	2021年3月期 第2四半期	
			増減
仕入債務	27,233	26,595	▲637
短期借入金	3,018	3,584	566
その他流動負債	2,439	4,013	1,574
長期借入金・社債	2,353	2,872	519
退職給付に係る負債	433	505	71
その他固定負債	1,803	2,018	214
<b>負債</b>	<b>37,280</b>	<b>39,589</b>	<b>2,308</b>
株主資本	15,127	15,792	665
その他の包括利益累計額	223	355	132
非支配株主持分	35	36	0
<b>純資産</b>	<b>15,385</b>	<b>16,185</b>	<b>799</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>52,666</b>	<b>55,774</b>	<b>3,107</b>
自己資本比率	29.1%	29.0%	▲0.1%

(単位:百万円)

	2020年3月期 第2四半期累計	2021年3月期 第2四半期累計	主な要因
営業活動によるキャッシュ・フロー	778	▲124	税引前当期純利益 + 1,362 たな卸資産の増加▲866 仕入債務の減少▲847
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲201	568	投資不動産の売却による収入 + 1,246 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の 取得による支出▲884
フリー・キャッシュ・フロー	577	443	
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲668	661	長期借入れによる収入 + 1,200 長期借入金の返済による支出▲679
現金及び現金同等物の増減額	▲91	1,105	
現金及び現金同等物の期首残高	6,910	8,181	
現金及び現金同等物の期末残高	6,819	9,286	

# 2021年3月期 業績予想と取組み



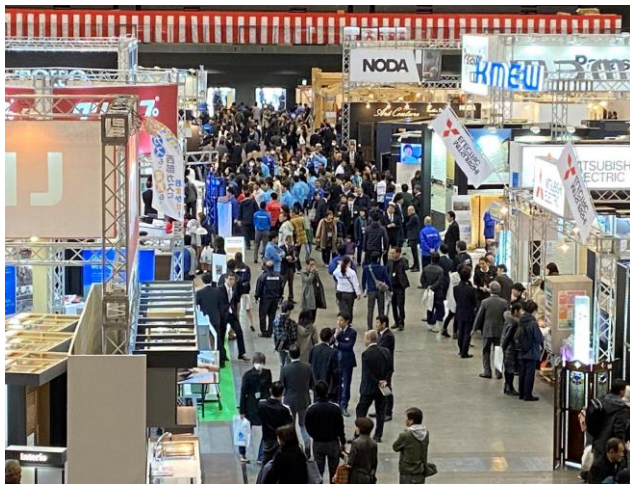
単位:百万円、( )内は構成比

	2020年3月期 実績	2021年3月期			
		第2四半期累計 実績	通期予想対比 進捗率	通期予想	前期比
売上高	104,219 (100.0%)	47,774 (100.0%)	48.7%	98,000 (100.0%)	94.0%
売上総利益	13,102 (12.6%)	6,130 (12.8%)	49.2%	12,470 (12.7%)	95.2%
販売管理費	11,065 (10.6%)	5,565 (11.7%)	49.4%	11,270 (11.5%)	101.8%
営業利益	2,036 (2.0%)	564 (1.2%)	47.1%	1,200 (1.2%)	58.9%
経常利益	2,264 (2.2%)	702 (1.5%)	52.0%	1,350 (1.4%)	59.6%
親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益	1,426 (1.4%)	841 (1.8%)	71.9%	1,170 (1.2%)	82.0%

『Withコロナ』時代に合わせた新しい営業・提案手法の一つとして  
インターネットを活用した**LIVE商談会**を開催予定

### これまでの展示会場では…

- ・会場内が三密状態
- ・ウイルス感染に対する不安
- ・来場者の大幅な減少予測



### LIVE商談会の展示会場

- ・ウイルス感染対策ガイドラインを基に感染対策
- ・会場内の人数制限
- ・インターネットを活用して商品提案のLIVE配信
- ・ZOOMを活用した個別商談



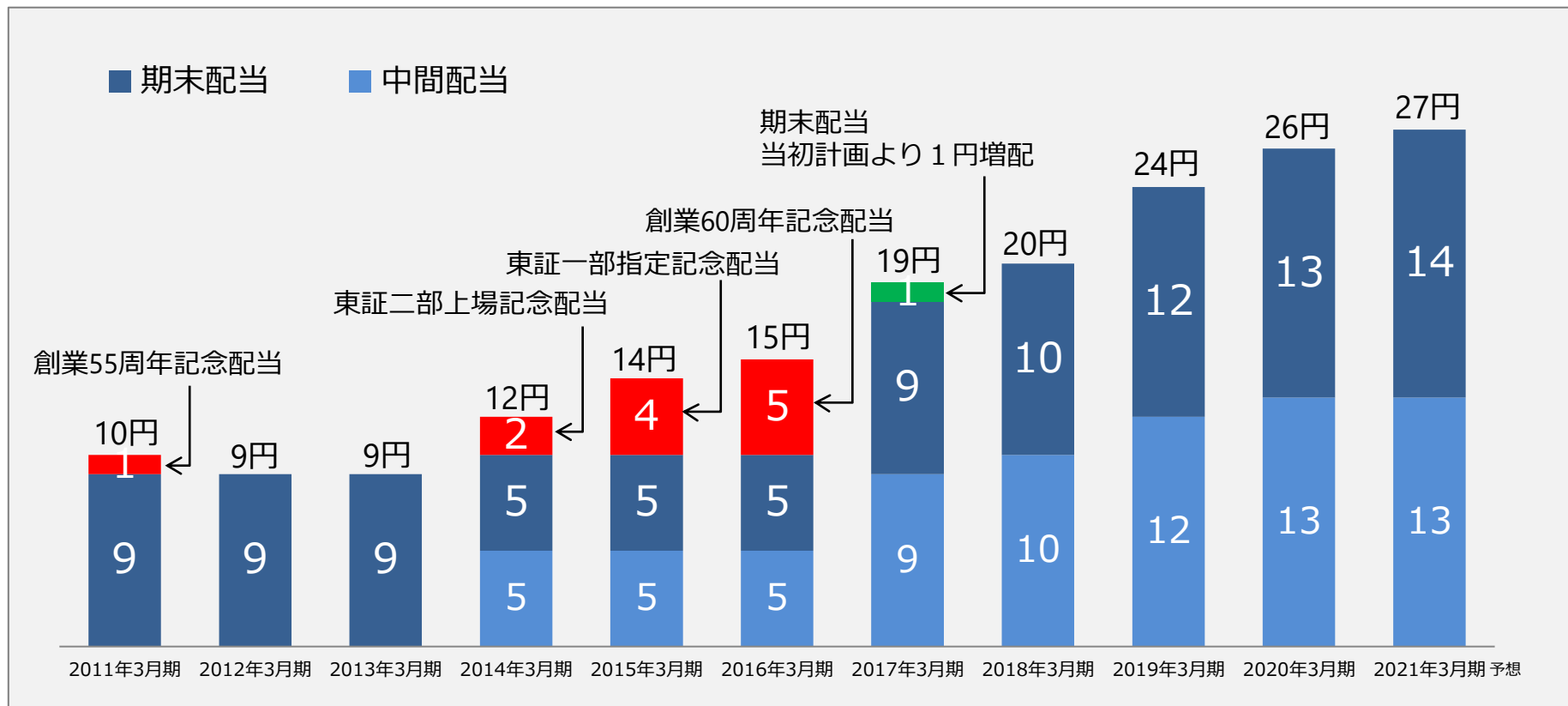
# 開催概要

---

- 開催日時 : 2021年1月20日(水)～21日(木) 予定
- 開催場所 : 福岡国際会議場
- 実施内容 :
  - ①商品提案 (YouTubeでLIVE配信)
  - ②WEB商談 (ZOOMを活用)
  - ③オンラインセミナー ※ (一社)九州木質建物協議会
  - ④会場で対面商談
  - ⑤ショールーム商談会 ※メーカーショールームと同時開催

■ 配当方針

安定的な配当の維持に努めることに加えて、連結業績を加味した配当を行なうことを基本方針とし、連結配当性向については、**20%**程度を下限とし、**30%**以上を目指すものとします。



配当性向 **7.9%** **4.7%** **6.2%** **7.3%** **16.9%** **17.4%** **18.4%** **19.6%** **22.9%** **23.7%** **30.0%**



【 連絡先 】 OCHIホールディングス株式会社  
【 所在地 】 福岡市中央区那の津三丁目12番20号  
【 T E L 】 経営企画部 092-732-8959  
財 務 部 092-711-9173

このプレゼンテーション資料には、現時点の将来に関する前提や見通しに基づく予測が含まれております。実際の業績は、その時々状況や多様な要因により変更を余儀なくされることがあります。なお、変更があった場合でも当社は本資料を改定する義務を負いかねますので、ご了承ください。

また、本資料のいかなる部分も一切の権利はOCHIホールディングス株式会社に属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願い致します。